

Your Ref.: 2691-000046/US
Our Ref.: 62172US/P-698WO

Partial English Translation of JP-Y1 34-4254

Claim for utility model registration

A structure in a pile stitch weft knitting machine, wherein as shown in figures, a sub needle bed 9 having a front end thereof directed to an upper end of a needle bed 1 is inclined downward, and a sub sliding board 16 has: in a middle thereof a stitch cam having a shape of inverted trapezoid; and rising cams 19, 20 on both sides of the stitch cam, the rising cams 19, 20 including working faces to which antislip pieces 22, 23 pulled out by a spring 28 are attached by shafts of the antislip pieces 22, 23.

特 許 庁
実 用 新 案 公 報

実用新案出願公告
昭34-4254

公告 昭 34.3.27 出願 昭 31.6.26 実願 昭 31-32201

出願人 考案者 隅 田 利 郎 大阪市旭区上辻町34
代理人 弁理士 岸 本 守 一 外 1 名

(全 2 頁)

横 式 パ イ ル メ リ ヤ ス 編 機

図 面 の 略 解

第 1 図は本実用新案品の要部の縦断正面図、第 2 図は同じく平面図で、摺動盤を省略したものを示す。第 3 図は製品たるパイルメリヤスの正面図である。

実 用 新 案 の 説 明

本実用新案は、横式メリヤス編機の傾斜した針床の上方に、パイル引出針を有する副針床を平行に架設し、この上に、主針床の摺動盤に共動してパイル引出針を動かすカム装置を備え、地糸とパイル糸とを引揃えて緯メリヤス組織を編み、同時にそのシンカーウエールの部でパイル糸を引出し、パイルをつくる型の横式パイルメリヤス編機に於て、副針床を前縁の方向に傾斜させ、且これに属するカム装置を、倒梯形の下げカムの左右に上げカムが在り、該上げカムに対し、一端を軸支しバネに依つて引張つた揺動性のパイル引出針送り止片を接触させた構造を特徴とするものである。

図に於て、1 は一般の横式メリヤス編機の針床、2 はその針溝、3 はこれに嵌められた杓子針、4 はそのバッド、5 はこの針床に属する摺動盤、6 は中央の蝶型上げカム、7, 8 は左右の下げカム、9 は針床 1 の頂上方に針床 1 と平行に架設せられた副針床で、前縁を針床 1 の上端に向けて下方に傾斜し、前縁を針床 1 の頂端に接近している。10 はその両端を針床 1 の両側に支持棒 11 に取付けた杆、12 は針溝で、針床 1 の針溝 2 と交互の位置に刻まれている。13 は針溝 12 に嵌められたパイル引出針、14 はその先端の叉状部、15 はバッド、16 は副針床 9 上の副摺動盤、17 は之を主摺動板 5 に取付けた杆、18 は副摺動板 16 に取付けられた倒梯形の下げカム、19, 20 はその左右に配置せられた上げカム、21 は両上げカム 19, 20 の下端の間に渡された軌条、22, 23 は上げカム 19, 20 に対して設けられた揺動性のパイル針送り止片、24, 25 はそ

の軸で、上端は副摺動盤 16 の上面に突出しており、この部に有するピン 26, 27 がバネ 28 で互に連結せられ、このため送り止片 22, 23 の先端は、上げカム 19, 20 の作用面に接触している。29 は地糸の糸口、30 はパイル糸の糸口で地糸の糸口 29 より少し高い位置に保たれる。31 は摺動盤 5 に附属した糸口支持杆、32 は糸口取付部、33 は摺動盤 5 に支片 34 で取付けられた転子で、副針床 9 の下面を支えている。35 は地糸、36 はパイル糸、第 3 図に於て、37 は地メリヤス、38 はパイルである。

本実用新案の編機に於て、摺動盤 5 が第 2 図の矢の方向に摺動すれば、副摺動盤 16 は之に共動する。

杓子針 3 は上げカム 8 の右辺で進出し、左方の下げカム 7 で退入し、退入の途中で地糸 35 とパイル糸 36 を引揃えて喰え込み、第 3 図の地メリヤス 37 を編む。

パイル引出針 13 は、下げカム 18 の右辺で退入し、左方の上げカム 19 により、杓子針 3 とすれ違ひに進出し、地糸 35 より少し高い目に杓子針 3 の列に渡つたパイル糸 36 を叉状部 14 で掬い上げる形に支持し、第 3 図のパイル 38 をつくる。

以上に於て、引出針 13 が水平に進出するものと仮定すれば、針床 1 の頂点に突当らないため該頂点より上を通つて進出せなければならない。ところが、杓子針 3 に供給せられたパイル糸 36 は、引出針 13 が進出する位置で針床 1 の頂点の背後に横たわっているから、パイル糸 36 が僅かでも上記頂点以下に重れていると、本引出針 13 はパイル糸 36 を掬い上げることができない。ところが本実用新案の副針床 9 は前縁を針床 1 の上端に向けて上方に傾斜しているため、パイル引出針 13 はやや下向きに進出する。従て叉状部 14 の先端は主針床 1 の頂端に突当ることなく該頂端より低くその背後に進出することになり、パイル糸 36 が該頂端以下に渡つていてもこれを確実に捕える。

DECI AVAILABLE COPY

(2)

実用新案出願公告
昭34-4254

また、パイル引出針13は、その進出する場合、バツド15でとり止片22をバネ28の力に抗い押除ける。従て後位の引出針13が前位の引出針13と同時に或は先にとり出し、パイル糸の捕捉を不確実にすることが無い。これは副針床8の前端が下方に傾いているため、パイル引出針13がパイル糸38を捕える大切な時に勝手にとり出さないように抑止するわけである。

揺動盤5が第2図の矢と反対方向に揺動する工程では、これが上げカム8の左翼、下げカム8、副揺動盤9の下げカム18の左辺、上げカム20、とり止片23が働き、地メリヤス37とパイル38とをつくる。

パイル引出針13は、パイル38を引出し後、次の

工程で杓子針2が進出する迄引続いて進出の位置を保ち、パイル38の形成を確実にする。

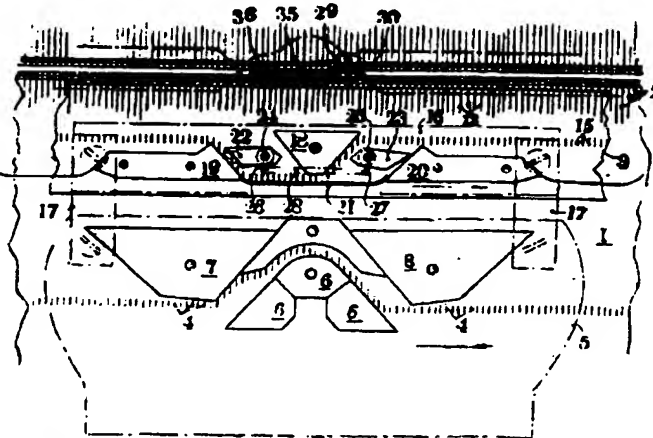
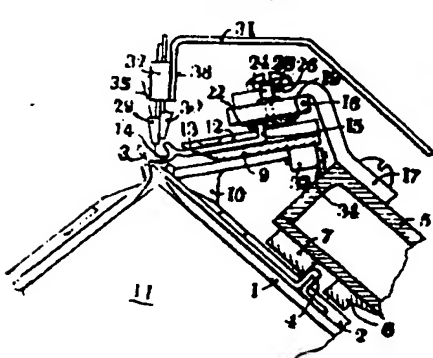
本実用新案は、上記したように、パイル引出針の傾斜、パイル引出針のとり止、パイル引出針の進出位置の持続等により、正確にパイルメリヤスを編成する効果を実現するのである。

登録請求の範囲

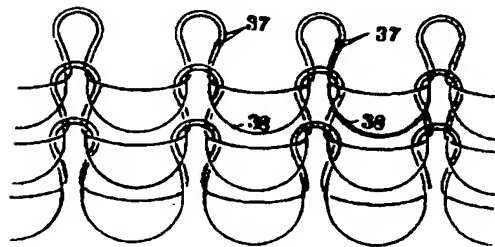
図面に示すように、横式パイルメリヤス編成機に於て、副針床8がその前端を針床1の上端に向けて下方に傾斜しており副揺動盤18は中央に倒梯形の下げカム、その左右に上げカム19、20を備え、且この上げカム19、20の作用面に対し、バネ28で引張られたとり止片22、23が軸着せられた構造。

第2図

第1図



第3図



BEST AVAILABLE COPY
648